

第6回波賀中学校区幼保一元化に係る地域の委員会 会議録

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員	協議事項（1）地域の方向性について、前回（第5回）の経過説明を事務局で 願います。
事務局	経過説明
委員	前回の確認をしていただいたが、幼保一元化についてはっきりしていることは、 宍粟市で昨年産まれたこども達は300人程であり、やがてその子どもたちが 幼稚園または保育所に入園する人数は波賀町の場合20人程度ではないかと思 うので、幼保一元化についてはこれまで通り進めて行こうという方向性を確認 できている。その中で、公立にするのか私立にするのかで議論している。選挙で 市長が代わったことも踏まえて皆さんの意見を述べてもらいたい。
委員	野尻幼稚園では3歳児保育をしているが、幼稚園が合併しても週5日で引き続 き継続してもらえるか。
委員	今聞かれているのは、野尻幼稚園が波賀幼稚園に来たときに、3歳児保育はどう なるかということ。
事務局	現状の状態で3歳児保育はなくなるということはないと思っている。
委員	それは週5日ということか？
事務局	現状の保育ということ。
委員	野尻幼稚園でしていることを波賀幼稚園でも・・・ということか？
事務局	その考え方でいいと思う。
委員	3歳児保育はなくならないだろうということだが、野尻幼稚園では週5日、波賀 幼稚園では週3日である。その3日が波賀幼稚園に来た場合週5日になるとい うことか？ 波賀幼稚園の週3日に組み込まれてしまうのか？ 5日のままにし ておいてほしいということか？
委員	5日を希望する。
事務局	現状の野尻幼稚園は3歳児保育を週5日だが、新しい市長とも話が出来てない ので今の教育委員会事務局としての現在の考え方では、野尻幼稚園が休園にな り波賀幼稚園にこられた場合もなくならないと思う。
委員	野尻幼稚園児は週5日で波賀幼稚園児は週3日のままということか。
事務局	まだそこまでの調整ができてないが、波賀幼稚園だけが前に行く訳にはいかな いと思う。
委員	そこははっきり答弁してもらわないと困る。野尻幼稚園は週5日の完全な3歳 児保育があるが、波賀幼稚園は保護者の要望の完全実施はへけになり、週3日 の不完全な状態で3歳児保育をしている。波賀幼稚園と野尻幼稚園が即ひとつに なるのはいいことだが、今の話では市として1つになると週5日の完全実施に

委員	なるように聞こえるが。
委員	この会は幼保一元化の会議のはずだが、教育委員会は幼保一元化をすることの前提としてまず第1段階に幼稚園の合併の話が先なのか。波賀幼稚園と野尻幼稚園は関係なく今の現状で幼保一元化をするのか、話の内容が違うと思う。
委員	平成27年4月に学校規模適正化で波賀の小学校が一つになるが、野尻幼稚園が取り残されるため波賀幼稚園との統廃合を優先するとなっている。統廃合になった場合、週5日になるか週3日になるかそれをどう調整できるか確認をとっているのだが、その決定権はこっちにあったほうがいい。この委員会で保護者や地域の方の希望を聞いて教育委員会が意見をくんでくれればいい。
委員	幼稚園の合併がまずありきなのか?決まっているのか?
事務局	幼稚園の統合を決定したように言われたが、決定してないと思う。どこで決定したのか?
委員	学校規模適正化のことについて教育委員会から市民センター波賀で説明会があり確認したのだが、教育委員会の方が野尻幼稚園だけをおいて野原小学校だけが波賀小学校と一緒になるということはありません。幼保一元化が進まなかった場合幼稚園の統廃合から優先的に進めると教育委員会の方から確認をとっている。
委員	そのような話になっていたのか?
委員	前回のこの委員会の話の中で、そういうことになっていた。
委員	希望としての話か? 教育委員会からそうしましょうという話があったのか?
委員	そうだった。波賀幼稚園と野尻幼稚園の統廃合を優先的に進めますと言い切られた。
委員	教育委員会として野尻幼稚園の週5日と波賀幼稚園の週3日をどう調整するか結論が出ていないということでもいいか。
事務局	結論は出ていない。先ほどの幼稚園の統合の件、学校規模適正化は決定したと聞いているが野尻幼稚園と波賀幼稚園については決定ではない。
委員	教育委員会がそうしますと言ったのは決定ではないのか。
事務局	野原小学校での話し合いでもそういう話が出たのか。
委員	幼稚園同士、27年度には一緒になると聞いていたので、この話をさせていただいた。
委員	子どもが少ないこともあって幼稚園の統合が早いほうがよかったが、今年度入園者があるということで、入園前の保護者と在園保護者で24年11月28日に相談した結果、小学校とのつながりを考えると小学校の統合に合わせて幼稚園の統合も希望すると決まった。
委員	幼稚園の段階で決まっているのか。
委員	野原小学校区の委員会で最終的な決を採って案を出し、24年度に決定し、学校

委員	規模適正化で話は進んでいる。特別に要望書とかは出していないのだが。
委員	27年度に学校規模適正化で小学校は一つになると同時に野尻幼稚園は波賀幼稚園と一緒に野原小校区の地域で決定していると学校規模適正化の委員会の方でそういう話が出ているので教育委員会で確認願いたい。今までそういう話をずっとしてきている。市長も幼稚園の統合がまず最優先だということはこれまでの個人演説会等で行われている。
委員	幼稚園の統合の話が出た時点で、このメンバーで一年間やってきたが何も進まないまま一年が経った。幼稚園の統合は何年後と決定していると聞いていたので幼保の話よりも幼稚園の統合をどういう風がいい状態に持っていかを幼稚園側としては優先している。通園問題とか3歳児保育の3日か5日かなど。
委員	幼稚園と幼稚園の場合は、通園の問題、園の方針などは、学校規模適正化と同じように考えていくのではないかと。協議会が立ち上げられるかどうかは別として。
委員	このままでは公か民か決定しないまま行くと思う。自分たちはもう幼稚園のPTA役員ではない。次からはこの場にはもういないので、最後として、幼稚園の合併の方を優先してもらいたい。公立か民間かの話は結論が出ないので、前回船積さんが言われたように5年後くらいを目途に会を中止にした方がいいのではないかと。
委員	結論として、予定では平成27年4月に向けて千種は民間でこども園を進めている。このメンバーでいかに議論しても結論は出ない、出したくはない。民間にすれば栄栗市どこも民間になる。ポイントは波賀町が握っていると思う。だから、そんなに急ぐ必要はない。平成27年4月の千種のこども園の開園を待って民営の運営・施設・保育の内容等をよく見させていただき検討したい。それまで凍結とし、それ以降に結論を出してもいいのではないかと。そうするとそれぞれの各種団体のメンバーは変わっていくが、役職名はそのままどうか。そして、千種のこども園をよく見て新しいメンバーで議論をしてもらおうということにしたい。異論があれば願います。
委員	モデルを見てからというのは必要だろう。私は今まで、まず山崎で作ってからとってきたが、千種が今回できるということで、3年間の凍結はいいが、次のメンバーは若い母親に参加してもらうことを要望する。
委員	平成27年には野原小学校PTAと野尻幼稚園PTAはないということになるが、その分他の人でということ。一応凍結ということでもいいかと。
委員	公立の幼稚園とういことで意見を言ってきたが、やはり民間より全国どこにでもある公立で当たり前を受けられる平等な教育がなくなるのは不思議に思う。公立を残す方向でこの会は進んでほしい。公立のこども園ができることを望む。
委員	その点は千種のこども園をよく見ていきたい。単純な疑問点は、民営化で保育料が高くなるかと不安な声を聞くが、市で保育料を決定しているのでそのよ

	うなことはない。職員の異動についても職員の固定化が心配されているが教育委員会としてどうか。交流はあるのか。
事務局	千種の状況から申し上げると、運営主体となる社会福祉法人の理事の中に市の職員が介入する。職員の交流についてもあるということ。
委員	例えば波賀や一宮の人事交流はあるということか。
事務局	派遣ということになるが、そういう形での人事交流になるかと思う。
委員	もし民間になったら理事の中に職員が入るとなっているが、現在おられる市の職員とはどの役職の方を考えているのか。先生が入るのか。
事務局	役職までは決まってないが担当課が担当する可能性がある。先生の方も現場のことなのでまだ分からない。市の担当部局から入ることになると思われる。
委員	凍結後の次の段階で新たなメンバーになった時に千種のこども園でどうなっているかを確認したい。
事務局	千種でもどの役職の職員が配置されるかは決まっていない。運営法人には説明してきている。
委員	各法人間の人事交流は出来ないのではないか。
委員	市ができると言っているからできるのであろう。
委員	法律で決まっているからできないのでは。
委員	そんな状態で平成27年に千種がスタートして、2年後にこの会が再開されたとしても基準が無いので千種1つだけを見て評価できるのか。それなら今まで実績のある幼稚園と保育園で連携を取りながら波賀の教育を考えた方がいいのではないか。
委員	千種だけでなく他のこども園も見えていかないとダメだろうと思う。2～3年もすれば波賀の子どもも少なくなり両方あってやっていけるのか。公立ならできると思うが民間ならどうか。市長も公立がこども園を作れば民間はつぶれると言っている。
委員	公立ができたなら民間がつぶれるのなら、つぶれることが分かっている民間に任せるとこども園にも疑問が残る。
委員	他の意見はないか。
委員	ここで決まれば幼稚園のPTA役員に凍結したと言っているのか。
委員	皆さんの意見を聞いて判断し決まればいいが、そういう方向性で行きたいと思っている。今まで一年間議論して結論が出ていないのだから。その間に山崎も進むだろう。戸原地区はどうなったのか。
事務局	戸原はまだ2回目で詳しく決まっていない。今後公立と民間のこども園を視察に行き、研究される予定である。
委員	研究して公立がいいとなれば公立ですか。
事務局	教育委員会としての姿勢は今までと変わっていない。地域の委員会の経過を受

委員	けて教育委員会で決定する。
事務局	ではその委員会の中で公立ですと一致して決めたら教育委員会に報告して公立で進めるのか。
委員	公立で進めるとは言っていない。
委員	前任の市長も今の市長も民意を反映すると言っている。だから凍結して、宍粟市がやろうとしていることをしっかり見て、民間で進めて問題ないとなれば宍粟の財政難を助けてもいいのではとなるのか、やはり公立がいいとなるのか、それは委員会しだいであろう。
委員	このメンバーで話合っても決まらない、その間に千種が進めばより安全な方向を取れるのではと思うので間をおいてもいいと思う。またその時の適正な新たなメンバーでその時の波賀の状態で話をしてもらいたい。ただ凍結するのではなく市は、あの時やめたからこの話はもうないということにはならないようにしてほしい。
委員	とりあえず今の段階でどういう意見が多いか決をとってもらいたい。私は公立で進む方がいいと思っているが、もし凍結後新しいメンバーが全員民間でなればこの一年間の話し合いの意味がなくなる。
委員	この委員会では公立が7割だった。では、次回の委員会は平成27年の6月か7月に第1回目を開催してはどうか。施設の見学も出来るしそこからスタートしてはどうか。各PTAに平成27年6月か7月に第1回幼保一元化の会議を再開すると伝えてほしい。
委員	しかし子どもが5人6人と減ってはそんなことは言っておられない。教育委員会はこの結論を認めるのか。認めないということで凍結の間に市が民間推進派でこの会を立ち上げ進めることはないか。2年ほど待つということでこの委員会の意見は凍結だが、市としては民間で考えているということで進めることはしないかという念押しだけはしてほしい。市長は時間をかけず、スピードを持ってと言っている。
委員	それは確認してもらおう。教育に関しては慎重にすると。
事務局	委員の質問に対して、今この場では何とも言えないが、この委員会の決定は伝える。
委員	この会が凍結したら幼稚園の統合の話は続けていけるのか。話しあう会ができるのか。
委員	学校の話の中で続けていくのではないか。
委員	幼稚園を一つにする話は別の委員会を立ち上げてになると思うが。
委員	計画はあるのか。
事務局	統合するという話が今出てきていると思うので、委員会を設けるのかどうか教育委員会に持ち帰り検討する。

委員	学校規模適正化の委員会と幼稚園をまとめてという訳にはいかないということだな。
事務局	お尋ねするが、学校規模適正化と幼保一元化の委員会の中でそのような方向が決まったと言われたが？
委員	学校規模適正化の委員会の中で、一緒になった時点で幼稚園を波賀幼稚園へ持ってくるという話を聞いている。ここで野尻幼稚園を波賀幼稚園へという議論はしていない。幼稚園の再編という話はしていない。だが幼稚園がどうなるかについては、野尻幼稚園の人が一番心配している。
事務局	幼保一元化がスムーズに進まなかった場合は幼稚園と一緒にするという言い方でしたが、幼保一元化を凍結するとなると幼稚園の再編については協議の場を設けていかなければならないと認識している。
委員	幼稚園の方はそれで良いか？ ほかに意見はないか。
委員	教育は平等でなければならないし、幼児教育はほんとに人間の基礎なのでないがしろにしないでほしい。現場の先生もこれまで話を聞かれていたのか。現場の声もしっかり平等に聞いて始めてほしい。
委員	では閉会する。
委員	この会は最初に会長が公立か私立かはさておいて幼稚園と保育所と一緒にするのがいいのかどうか議論してほしいというのがスタートだったと思うが、結局は公立か私立かの話になった。いつまでたっても同じこと。引原小学校の話も10年かかった。 この話も同じ事を繰り返して10年以上かかるかもしれない。行政の想いと地域の人の想いがかけ離れていることがわかった。今回で凍結ということになったが、幼保一元化は時代の流れで仕方ないと思うが公立か私立かはわからない。次の世代の人に考えてもらって答えを出してほしい。 では、閉会します。